

# 令和8年度（令和7年度分）教育委員会が行う点検・評価の報告書について（概要版）

## 1 点検・評価の概要（P1～P6）

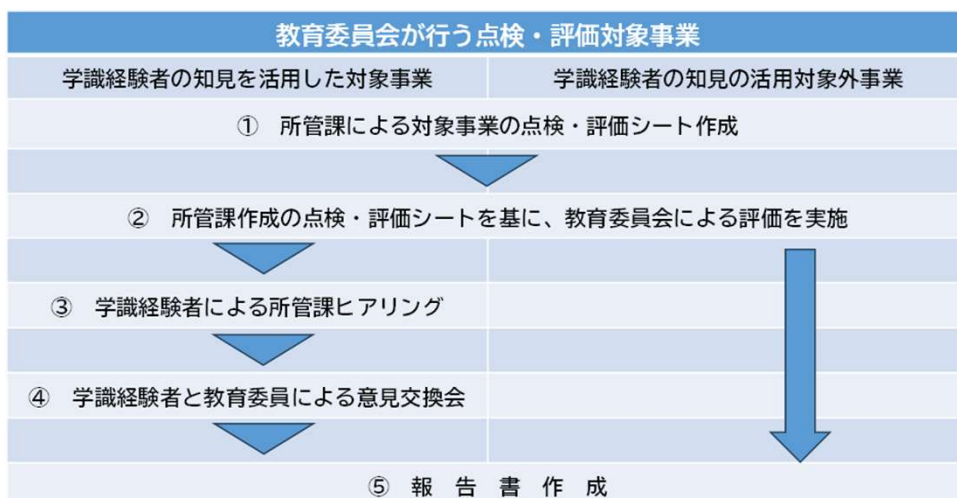
### (1) 目的

- 教育委員会が行う点検・評価（以下、「点検・評価」という。）は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「法律」という。）」に基づき、教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、区民への説明責任を果たすとともに、効果的な教育行政の推進に資することを目的としている。

### (2) 実施方法等

- 「いたばし学び支援プラン2025」に位置付けた事業について、令和7年度に実施した内容を対象として点検・評価を行う。
- 客観性及び透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する2名の有識者から意見・助言をいただく。
- 令和7年度の点検・評価対象事業について、学識経験者の知見を活用した事業と活用しない事業に区分して評価結果を整理するとともに、教育委員会による評価、学識経験者からの意見・助言及び意見交換会の内容を掲載している。

#### ▼ 実施の流れ



#### ▼ 事業評価の見方

- 点検・評価の客観性及び統一性を確保するため、所管課による評価及び教育委員会による評価において共通の「評価評語」を用いて評価する。

「評価評語」：事業の成果や課題を把握するための指標。

「方向性」：事業手法や指標等の見直しを検討し、今後の取組の方向を示す。

#### ① 評価標語

順調：目標に向け順調に進捗しており、目標達成が見込める  
概ね順調：目標に向け進捗しており、目標達成が期待できる  
停滞：目標に対して進展していない  
達成：既に目標を達成している

#### ② 方向性

- ・工夫して継続
- ・事業の転換
- ・事業手法の見直し
- ・目標値・指標の見直し
- ・事業の廃止

### (3) 対象事業

#### ① 学識経験者の知見を活用した対象事業（6事業）

- ・区立図書館と学校との連携強化
- ・放課後対策事業「あいキッズ」の推進
- ・板橋区立学校学級安定化対策事業の実施
- ・各学校園における「学校いじめ未然防止等基本方針」による取組
- ・不登校改善重点校事業の実施
- ・板橋フレンドセンターの充実

#### ▼ 学識経験者

中村 豊氏  
（東京理科大学 教育支援機構 科学教育連携センター教授）  
林 幸克氏  
（明治大学 文学部教授）

#### ② 学識経験者の知見の活用対象外事業（5事業）

- ・特別支援学級の設置
- ・特別支援教育に関する理解啓発
- ・特別支援学級・特別支援教室等の専門性向上
- ・日本語の能力が十分でない児童・生徒への対応
- ・「絵本のまち板橋」の推進

## 2 学識経験者の知見を活用した事業の点検・評価（P7～P30）

### (1) 対象事業

#### ① 教育委員会評価一覧

| 番号 | 個 別 事 業                       | 評価標語 | 方向性    |
|----|-------------------------------|------|--------|
| 1  | 区立図書館と学校との連携強化                | 順 調  | 工夫して継続 |
| 2  | 放課後対策事業「あいキッズ」の推進             | 順 調  | 工夫して継続 |
| 3  | 板橋区立学校学級安定化対策事業の実施            | 順 調  | 工夫して継続 |
| 4  | 各学校園における「学校いじめ未然防止等基本方針」による取組 | 概ね順調 | 工夫して継続 |
| 5  | 不登校改善重点校事業の実施                 | 順 調  | 工夫して継続 |
| 6  | 板橋フレンドセンターの充実                 | 概ね順調 | 工夫して継続 |

#### ② 学識経験者からの意見（抜粋）

（事業1） 探究的な学習を支えるためには、どのような視点で資料を整備しているのかを明確にするとともに、学校図書委員会との連携については発達段階に応じた取組内容を示すことが重要である。

（事業2） 放課後の活動は学校生活の延長線上にあることから、児童同士のトラブルや保護者対応に適切に対応できるよう、委託事業者への研修や学校との連携をさらに充実させていただきたい。

（事業3） WEBQ Uを活用した取組は、学級経営の安定化やいじめの未然防止に効果的である。今後は、小学校から中学校へのデータの引継ぎや活用についても検討していただきたい。

（事業4） 今後は法に基づく適切な初期対応を確実に行うため、実践的な研修の充実が必要である。特に、専門家の知見を活用した研修についても検討していただきたい。

（事業5） 校内支援センターの運営に当たっては、「学校復帰」や「社会的自立」など、板橋区としてめざす方向性を明確にすることが重要である。また、支援につながっていない子どもを生まないためにも、専門性を有する支援員の配置など、支援体制の充実を図っていただきたい。

（事業6） 誰一人取り残さない支援を実現するために、学校との情報共有や連携をより一層進めることが重要である。また、将来的には公認心理師など専門性を有する人材活用も検討していただきたい。

#### ③ 学識経験者と教育委員の意見交換会（抜粋）

事業間に共通する課題や今後の方向性についても幅広く検討できるよう、（議題1）「区立図書館と学校との連携強化」、（議題2）「放課後対策事業『あいキッズ』の推進」、（議題3）「不登校・いじめ対策の推進」に整理し、意見交換会を行った。

（議題1） 中学生を中心に読書率やコンクール応募者数の減少が見られることから、学校図書館同士や区立図書館との連携を一層推進するとともに、図書委員会活動等を活用しながら、子どもたちが主体的に本と関わる機会を充実させ、読書習慣の定着につなげていくことが重要である。

（議題2） 利用児童への意見聴取については、事業運営や企画立案への参画など、子どもたちの意見をより積極的に反映する仕組みを検討するとともに、学年や発達段階によってニーズが異なることを踏まえ、好事例や課題の共有を進めながら、子どもたちの実態やニーズを継続的に把握していく必要がある。

（議題3） 不登校支援については、社会的自立を学校復帰だけで捉えるのではなく、一人ひとりの背景や希望を丁寧に把握し、本人に合った学び方や居場所を見つけ、次の一步を自ら選べるよう支援することが重要である。

## 3 学識経験者の知見の活用対象外事業の点検・評価（P31～P40）

### ▼ 教育委員会評価一覧

| 番号 | 個 別 事 業               | 評価標語 | 方向性    |
|----|-----------------------|------|--------|
| 7  | 特別支援学級の設置             | 順 調  | 工夫して継続 |
| 8  | 特別支援教育に関する理解啓発        | 順 調  | 工夫して継続 |
| 9  | 特別支援学級・特別支援教室等の専門性向上  | 順 調  | 工夫して継続 |
| 10 | 日本語の能力が十分でない児童・生徒への対応 | 順 調  | 工夫して継続 |
| 11 | 「絵本のまち板橋」の推進          | 順 調  | 工夫して継続 |

## 4 公表

区ホームページで公表し、教育広報や板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム等で情報発信する。